

令和3年度 第1回 学校評議員会 議事録

日時：令和3年6月24日（木）9：30～11：30

1 開会あいさつ

学校長

2 学校評議員の委嘱

3 出席者紹介

4 授業見学

5 学校概要の説明

(1)本年度の学校経営の重点等について

(学校長)

教育目標について

- ・多文化共生社会に生きる人間形成を図る。
- ・基礎基本だけでなく、自ら学び、考え、判断し、行動する力を育成する。
- ・兵庫県の先頭を切って、国際社会に貢献できる力を身に付けられる教育を進めていく。

学校経営の重点について

- ・自己実現への支援、弾力的な多様なカリキュラムの編成と学習支援、主体的な進路実現への支援、心の教育の推進、交流活動の推進をあげている。
- ・来年度から学習指導要領が大きく変わる。来年度はほぼ決まっているが、再来年度以降についても、特色のある教育課程の編成についてさらに考えていく。
- ・昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけにして、ICTの活用は急速に進んできた。指導する先生方の研修も進めていく。
- ・コロナの影響で、昨年度のトライやるウィークは、十分なことはできなかった。今年度も方向性はハッキリと定まっていないが、兵庫県ならではのトライアルウィークだけでなく、体験活動を後期課程においても推進していく。
- ・心の教育については、いろいろな悩みを持つ生徒たちが、最近増えている。本校は、特にいろいろな国から生徒が来ているので、それぞれの文化の違いを原因として、子ども同士、特に前期課程で意見がぶつかったり悩んでしまったりするような生徒達もいる。スクールカウンセラーとキャンパスカウンセラーを前期課程と後期課程両方から派遣頂き、カウンセラーの先生方の力を借りながら、心の教育を推進する。
- ・交流活動は、コロナの影響で行動できていないのが現状。コロナさえ落ち着けば、活動を再開したい。
- ・開かれた学校づくりの推進については、地域、保護者の方、同窓会の方から意見を聞きながら、本校の進むべき道を、20周年、さらに30周年に向けての方向性をご助言いただきたい。
- ・働き方改革の推進については、先生が元気でないと生徒達も元気になれない、先生方の負担を減らし、先生方の休める環境作りも進めていく。

(2)生徒状況について

ア 在籍生徒の状況

(教頭)

今年度5月1日現在の生徒数は、466名。市町別では、神戸市178名、西宮市118名、芦屋市77名が多い。通学所要時間では、20分まで83名、40分まで100名、60分まで201名だが、2時間前後の生徒も数名いる。国籍別生徒数は、中国46名、韓国13名、ネパール10名、フィリピン10名が多い。33の国と地域からの生徒が集っている。

イ 13期生進路最終状況

(教頭)

2020年度13期生、75名の卒業生の進路決定先は、国公立大学12名、私立大学49名、短期大学1名、専門学校5名、浪人、その他が8名。コロナの影響か、全体的に推薦入試で進路を決める生徒が多かった。今年度は、一般入試を見据えて、多様な進路選択ができるように取り組んでいきたい。

ウ 第1学年の様子について

(教頭)

19期生80人は、11の国と地域からの生徒が集っている。5月に田植えの校外学習を予定していたが、コロナの関係で内容を変更して実施した。文化祭では、AIや、世界の米作りの展示に粘り強く取り組み、仕上げることができた。校外学習や文化祭などの行事を通して、仲間のことを思いやる気持ちが伝わってきた。学年の課題は、まだまだ精神面で幼い部分があるということ。個別にゆっくり指導や支援をしている。

学年主任の言葉「良い面も悪い面もきちんと伝えれば響く学年。80人の一人一人が良い方向に成長できるように、学年団が一致団結して指導に当たっていく。」

6 意見交換

(評議員) 体育のハードルの授業を見た。心の教育の推進とあるが、「大切なことを伝える」ことをどのように子どもたちに伝えているのか。人権教育の取組など、また見てみたい。

(評議員) 授業見学をしたが、いい雰囲気だった。数学では、ICTを活用した授業だった。昨年のコロナ休校時にエネルギーを注いだことを活用しないのはもったいない。教室、廊下等きれいに整備されていた。

(評議員) 2009年に卒業して以来だが、自分の経験と照らし合っしながら授業見学をしたが、変わってないという印象を受けた。生徒は活発で、先生は一生懸命だ。2006年に新しい校舎が竣工して年月が経つが、校舎は変わらずきれいだ。AIタイム、地域別集会など、芦国ならではの授業も見てみたい。先生や生徒の意見も直接聞いてみたい。エリート教育になってないだろうか、何のための学校か、学校の存在意義、設置理念などを常に認識しないといけない。同窓会として、今の学校を応援していきたい。

(評議員) 文化祭が終わった後なのに、校舎がきれい。入試制度が変わって、一つの国に偏らないように、いろんな国と関わればと思う。入試に向けて勉強を頑張る生徒が多い。受験結果の広報の方法を工夫してみてもいい。以前、文科省の全国学力調査で数学の成績が低かったが…。

(評議員) どの教室も笑いが起こる授業だった。生徒たちは、集中力をもって授業に取り組んでいる。古典の授業はわかりやすく、見いってしまった。先生が、生徒たちと熱心に向き合ってくれている。先生方を応援している。

(評議員) 芦国のアイデンティはどこにあるのか。芦国が、目指しているのは、進学、個性…県教委が、芦国に求めているものは何ですか。他の学校と芦国との違いは何か。卒業生が、社会貢献、国際貢献しているのか。生徒が自分の意思を持ち、アイデンティティを持って進んで行ってほしい。

(評議員) 小規模、小クラスで手厚く見られている。ICT機器は、いろんな方法で使えると思う。先生方のご尽力で、全体的に落ち着いている。

7 その他

- ・ 学校評議員会開催時期について

第2回 令和3年10月上旬 (10月14日予定)

第3回 令和4年3月中旬 (3月17日予定)

8 閉会あいさつ

学校長